

## 中野区デジタル地域通貨事業の実施状況等及びコミュニティポイントの検討状況について

区は、「区内経済・産業の活性化」及び「区の政策・施策の側面的推進」を目的として、令和6年11月から「デジタル地域通貨事業」を開始した。

「区の政策・施策の側面的推進」においては、「ナカペイ」と連動したコミュニティポイントを導入することでウェルビーイングの向上を図るものであり、テーマ（対象とする政策課題）を「スマートウェルネスシティ（以下「SWC」とする）の推進」としている。

このことについて、「ナカペイ」の実施状況及び今後の取組、並びにコミュニティポイントの検討状況を整理したので、報告する。

### 1 デジタル地域通貨事業の実施状況等

#### (1) 令和7年度（上半期）の実施状況

① 加盟店申請数 1,420店舗（令和7年9月28日現在）

② ナカペイアプリ登録者数 75,893人（令和7年9月28日現在）

③ キャンペーン（プレミアム付ナカペイ販売）の実施

プレミアム率20%のナカペイを発行（1セット5,000円で6,000ポイント付与）

|            |                |
|------------|----------------|
| 申込期間       | 令和7年6月3日～6月20日 |
| 販売期間       | 令和7年7月3日～7月31日 |
| 申込人数       | 41,205人        |
| 最大申込可能セット数 | 6セット           |
| 販売予定セット数   | 200,000セット     |
| 申込セット数     | 228,894セット     |
| 購入者数       | 37,913人        |
| 購入セット数     | 212,240セット     |

④ 通常チャージ（令和7年8月末現在）

チャージ金額 12,794,000円

チャージ回数 1,308回

チャージ人数（実人数） 883人

⑤ その他

- ・決済音を子どもの声で「ナカペイ」に変更
- ・店舗で利用できるクーポン機能の利用開始
- ・商店街・町会イベントでのポイント付与
- ・なかの里・まち連携自治体による合同物産展や、町会の秋祭り等における屋台決済での活用

- ・ふるさと納税の返礼品にナカペイのポイントを追加
- ・地域コミュニティアプリ「ピアッザ」にナカペイ（専用サイト）のお知らせを情報連携
- ・ユーザビリティ向上のためのアプリ改修

## （２）令和６年度及び令和７年度の実施結果の分析

### ① 利用者に関すること

- ・２０歳代が他の年代と比較して少ないことを踏まえ、学生へのヒアリング等を行ったところ、「ナカペイ利用により１品無料などのキャンペーンがあると利用する」「プレミアム付ナカペイの販売は申込等が手間であり、１セット５，０００円が高く感じる」「民間ペイと同様な送金機能があるとよい」といった声があがった。
- ・ナカペイを知らないという声も少なくなく、さまざまな機会・媒体を活用した広報を一層進めていく必要がある。

### ② 加盟店に関すること

- ・加盟店舗数について、令和７年度からの伸びが鈍化していることから、加盟店を増やすために効果的な手法や周知等について検討していく必要がある。
- ・操作性の改善を求める声も、利用者及び加盟店双方からあがっている。

### ③ プレミアム付ナカペイの販売に関すること

- ・プレミアム付ナカペイ販売における新規申込者（前回以前の販売に申込をしていない方）については、令和６年度の第２弾が２１，４１３人であった一方で、令和７年度の第１弾においては８，６６０人とどまった。令和６年度第２弾は、チラシの全戸配布及びダウンロードキャンペーン（アプリをダウンロードし、アカウント登録した人に１，０００ポイントを付与）を実施しており、その効果が高かったことが窺えた。
- ・ダウンロードキャンペーンにより１，０００ポイントを付与された方は、その後のプレミアム付ナカペイ販売においても８割以上の方が申込をしており、アクティブユーザーの獲得につながっている。

### ④ 通常チャージに関すること

- ・通常チャージにおけるインセンティブを求める声も、利用者及び加盟店双方からあがっている。
- ・今年度においてはインセンティブがない中で、想定以上の利用実績があったため、インセンティブを設けた際のアクティブユーザーの獲得が一定程度見込める。
- ・一方で、現状では不正利用防止等の安全確保の観点から、クレジットカードによるチャージはできない仕様としており、通常チャージでクレジットカードを使用可能とすることを求める声がある。

### ⑤ その他

- ・ふるさと納税の返礼品であるナカペイポイントについては、８月１日から９月２５日までの期間で６５５万円分寄付されており、歳入の確保に一定寄与している。
- ・令和７年の１２月末に有効期限を迎えるポイントのうち、同年８月末時点において約９４％が消費されており、有効期間の設定が「消費を喚起し経済循環を促す」ことに寄与したことが

窺えた。

### (3) 今後の取組（予定）

#### ① 令和7年度（下半期）の取組

- ・プレミアム付ナカペイ（第2弾）の販売

プレミアム率：20%（1セット5,000円で6,000ポイント付与）

申込期間：11月5日～11月26日（1人につき4セットを上限）

※申込数が販売数の上限を超えた場合は、抽選

販売期間：12月10日（当選発表日）～12月25日

- ・商店街等からのお知らせ機能による配信開始、クーポン機能の利用推進
- ・イベント会場でのナカペイ利用の推進（決済手段としての活用推進、チラシ配布等による周知）
- ・ユーザビリティ向上のためのアプリ改修
- ・産学官連携事業（ナカペイの経済的効果の検証及び活用に関する提案、研究等）の最終報告を踏まえた事業の検証

#### ② 令和8年度以降に実施する取組

- ・マイナンバー認証の導入に伴う通常チャージにおけるクレジットカード利用の検討・実施
- ・通常チャージにおけるインセンティブ（常時還元）の検討・実施
- ・送金機能の検討・導入
- ・ユーザビリティ向上のためのアプリ改修
- ・加盟店紹介キャンペーンの検討

## 2 コミュニティポイントについて

### (1) 導入の目的

SWCの推進を図り、特に区民の心身の健康増進とコミュニティの活性化（「よりよい生活習慣と楽しい社会参加で、健康に暮らそう」）に向けて、行動変容を促すことを主たる目的として、コミュニティポイントを導入する。

### (2) 期待される（目指す）効果

SWCを推進するツールとして、EBPMを進め、見直し・改善を図りながら、実効性の高い施策や事業を実施することで、健康増進・健康寿命の延伸や社会参画と幸福度を高め、ひいては医療・介護費の適正化につなげていく。また、これらにより軽減された財政負担分を区民等に還元する。

### (3) 令和7年度導入・導入予定事業

- ・健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業

※その他、社会福祉協議会が講座への参加ポイント、中野区職員互助会が福利厚生事業への活用を予定している。

### (4) 令和8年度に導入を検討している事業

- ・基本健診・がん検診等の複数受診

(目的) 健康増進、健康寿命の延伸

(効果) 受診率の向上、受診期間の平準化

・がん検診精密検査受診

(目的) 健康増進、健康寿命の延伸

(効果) 受診率の向上

・特定保健指導

(目的) 健康増進、医療費削減

(効果) 特定保健指導利用率の向上、メタボリックシンドロームの改善

・禁煙外来治療費助成事業

(目的) 健康増進（禁煙の促進）、受動喫煙の防止、医療費削減

(効果) 助成制度の利用増加、禁煙者の増加

・集合住宅（アパート・マンション等）防災訓練

(目的) 集合住宅居住者の防災力の向上、集合住宅内の防災コミュニティの活性化

(効果) ポイントによる備蓄品等の購入、訓練後の備蓄行動や避難経路確認などの防災実践率の向上、災害時の自助・共助体制の強化

・自転車安全利用講習会（参加者の年代を限定した区主催の講習会）

(目的) 交通安全意識の向上、自転車交通事故の減少、交通ルールの周知、マナーの向上

(効果) 自転車利用者の交通ルール習得及びマナーの向上

・地球温暖化防止出前講座

(目的) 地球温暖化防止活動につながる環境配慮行動の促進

(効果) 地球温暖化防止活動（環境配慮行動）に取り組む人の増加、二酸化炭素排出量の削減

・子どもエコ講座

(目的) 子ども世代の環境問題への意識向上

(効果) 環境問題に興味を持つ子ども世代の増加、子どもから親への波及効果

・生ごみ処理機・コンポストあっせん事業

(目的) 生ごみの減量、生ごみ処理機等の普及

(効果) 生ごみ処理機等のあっせん利用増加、生ごみの排出量削減

※その他、ファーストバースデーサポート事業における育児パッケージ（商品）への追加、各事業における景品等の活用を検討している。

## (5) 今後の予定

・第4回定例会において、令和8年度に導入するコミュニティポイント（案）について、事業各所管課より常任委員会等で報告する予定